

「石部の町を支え、その未来を切り拓く力を！！」 ～地域人材による学習支援

滋賀県湖南市

活動名

石部小学校学校運営協議会

関係する学校

石部小学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター数 2人	子供の平均参加人数 8人	開始年度 26年度	国庫補助 有	学習支援 無	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 有
	学校支援地域本部	コーディネーター数 1人	ボランティア登録数 201人	開始年度 20年度	国庫補助 有	学習支援 無	ICT活用 有	企業・NPOとの連携 有
放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	実施場所					開始年度	放課後児童クラブとの連携	
コミュニティ・スクール	指定日					委員数	児童生徒数	学級数
	平成 27 年 4 月 1 日					11人	364人	15学級

活動の概要・経緯
平成20年8月、学校支援地域本部「学校応援団」を立ち上げ、今日まで多くの地域の人材が学校教育に関わり子供たちを支援。平成26年、コミュニティ・スクールの指定を目指し、推進委員会を設置。平成27年4月1日、コミュニティ・スクールの指定を受ける。平成26年度実施の保護者アンケート結果から、旧来石部地区に在住する人々と新たに居住するようになった人々では、共に支え合い理解し合える関係の構築が難しく、孤立しがちな家庭も多いことが分かった。このような状況から、子供が生まれ育った環境に左右されないことがないように、地域の人材による学習の支援体制を充実させ、子供と地域の人々との結びつきを強くする中で、「未来の石部を考えることのできる力」を持つ子供の育成に取り組んでいる。

特徴

【特徴的な活動内容】

地域の人材による学習支援として、教育課程外では、長期休業中に宿題教室・郷土資料学習を、土曜日に科学実験・ロボット教室を実施。教育課程内の支援として、ミシン学習・そろばん学習・スキー指導・情報教育・環境教育・「石部学」遠足・読み聞かせ・米作りや栽培活動等で学習支援を受けている。コミュニティ・スクールとして指定を受けた平成27年度は、学校運営協議会の学習支援委員会が中心になり、多くの地域の人材が、長期休業中や土曜日の学習支援の充実を図り、子供たちとのつながりを深め、子供たちの学力保障・学力向上に取り組んでいる。

【実施に当たっての工夫】

学校運営協議会の学習支援委員会委員が石部まちづくり協議会の「育てよう いしべっ子部会」に参画。地域の多くの方に、子供たちの学習支援を依頼。当初「どうして先生が教えないのか？」という疑問の声が出されたものの、「地域住民が地域の子供に学習を教えることの意義」を粘り強く熱意を持って説くことにより多くの地域の方々の賛同を得て、夏休みの学習教室開催を実現。「郷土資料学習」では、実施に先駆け、市内他地域で学習支援の実績のある地域の人材を講師として招へい。「郷土資料学習の進め方」について学習支援の担当者に事前研修会を実施。

事業を実施して

「地域の人材による学習教室」は、予想以上の反響を呼び、夏休みの宿題教室に62名(全校児童の17%)が応募。学校の教室では見せないようなおおらかな笑顔と、達成感と満足感に満ちあふれた子供の姿が見られた。地域の方々は、「子供たちがこんなにも前向きに勉強するんだ。」と大きな気づきや発見をされ、改めて地域の子供と、地域の人材が共に学習することの意義を感得。「郷土資料学習」は、昨年度から継続しての実施。学習を支援する大人が見通しをもって実施することで充実を図っている。

その他

土曜日の教育活動においては、NPO法人「こなんネットしが」の支援により、冬にロボット教室を開催。学校支援地域本部による企業連携は、地元の(株)ゴーシュー、(株)甲賀高分子の地元企業の支援を得て、校区を流れる宮川の生物の観察や水質の検査、清掃活動の継続的な実施。ICTの活用は、地域住民で元NTT社員の方が、特別支援学級の児童を対象にPCの活用の指導を推進中。



まちづくりセンターでの夏休み宿題教室



郷土資料学習「郷土資料博士になろう」